

## 山奥のパラダイス

中国山地の山奥に私の目指す仙郷があった。鳥取県智頭町芦津溪谷。美しい山の緑に囲まれ奥へ奥へと車は進んだ。爽やかな空気が全身を包んでくれる。川のせせらぎを聞きながら小鳥のさえずりが心地よいリズムを奏でてくれる。

山菜料理の店「みたき園」はそんな中で迎えてくれた。入口付近に放し飼いの鶏に驚かされた。店内は広い庭園に茅葺き屋根の古民家がいくつも分かれて建てられていた。その中を小川が流れビールやサイダーが冷やされ、堰き止められた池には清流にしか住めない大量のヤマメが泳いでいた。庭のあちこちに岩がむき出しになって散らばっている。そのすべての岩に緑のコケが纏い一層自然の豊かさを演出していた。所々にテーブルが設置され森林浴を感じながらの食事もある。



昼食はいくつかある茅葺き屋根の一番大きな古民家で頂いた。季節は9月の下旬であったが室内に囲炉裏が焚かれており、木の燃える淡い煙がいっぱいに広がっていた。絶品の山菜料理が次々に運んでくる。ニジマスの造り、ヤマメに山椒味噌を塗した串焼き、キジやシカの燻製。そして「やまぶき」や「イタドリの葉」などの珍しい山菜の天ぷら。山菜入りの豆腐、自然薯のトロロ、プリプリの手作りこんにやく……。食事中に女将が挨拶に来られた。小柄で少々年配者ではあるがどことなく品のある美しい人であった。「今朝採れた栗で栗ご飯を作ってみました」さりげない言葉に都会人の心がくすぐられた。

ここには日本人の故郷を思い出させる素敵なパラダイスがあった。

撮影 2016 年秋

